

Google API OAuth2.0

概要

- ▶ HRBC内でGmail送受信を行うために、事前にGoogle APIの設定を行っていただく必要があります。
- ▶ ここではその手順について説明させていただきます。

Google Cloud Platformの設定確認

- ▶ Google Cloud Platformが「オン」になっていること
 - ▶ 特権管理者のみ設定変更が可能となります。
 - ▶ <https://admin.google.com/ac/appslist/additional>

すべての組織部門でアプリのステータスを表示しています サービスを追

<input type="checkbox"/>	サービス ↑	サービスのステータス
<input type="checkbox"/>	 FeedBurner	オン (すべてのユーザー)
<input type="checkbox"/>	 Google AdSense	オン (すべてのユーザー)
<input type="checkbox"/>	 Google Bookmarks	オン (すべてのユーザー)
<input type="checkbox"/>	 Google Chrome 同期	オン (すべてのユーザー)
<input type="checkbox"/>	 Google Cloud Platform	オン (すべてのユーザー)
<input type="checkbox"/>	 Google Domains	オン (すべてのユーザー)

プロジェクトの作成 1

- ▶ 特権管理者でG Suiteにログインし、プロジェクトを作成する
 - ▶ <https://console.developers.google.com/cloud-resource-manager>

The screenshot shows the Google Cloud Platform console interface. At the top left, there is a hamburger menu icon followed by the text 'Google APIs'. To the right is a search bar containing the text 'API とサービスを検索します'. Below this is a navigation bar with the text 'リソースの管理' on the left and several buttons: '+ プロジェクトを作成' (highlighted with a red box), '+ フォルダを作成', '移動', and '削除'. Below the navigation bar is a filter section with a hamburger menu icon and the text 'フィルタ'. To the right of the filter are icons for '×', '?', and '≡'. Below the filter is a table header with columns: '名前', 'ID', '最終アクセス日 ↓', '課金額 ?', and 'ラベル'. Below the table header is the text '表示する結果がありません'. At the bottom left, there is a link '削除保留中のリソース'. On the right side of the screenshot, there is a vertical sidebar with the text 'リソース' at the top, '権限' below it, and an information icon 'i' at the bottom.

プロジェクトの作成 2

- ▶ プロジェクト名に「HRBCMailService」等、用途がわかるような名称を入力してください。

☰ Google APIs

新しいプロジェクト

プロジェクト名*
HRBCMailService ?

プロジェクト ID: hrbcmailservice。後で変更することはできません。 [編集](#)

組織* ?

プロジェクトに関連付ける組織を選択します。この選択を後で変更することはできません。

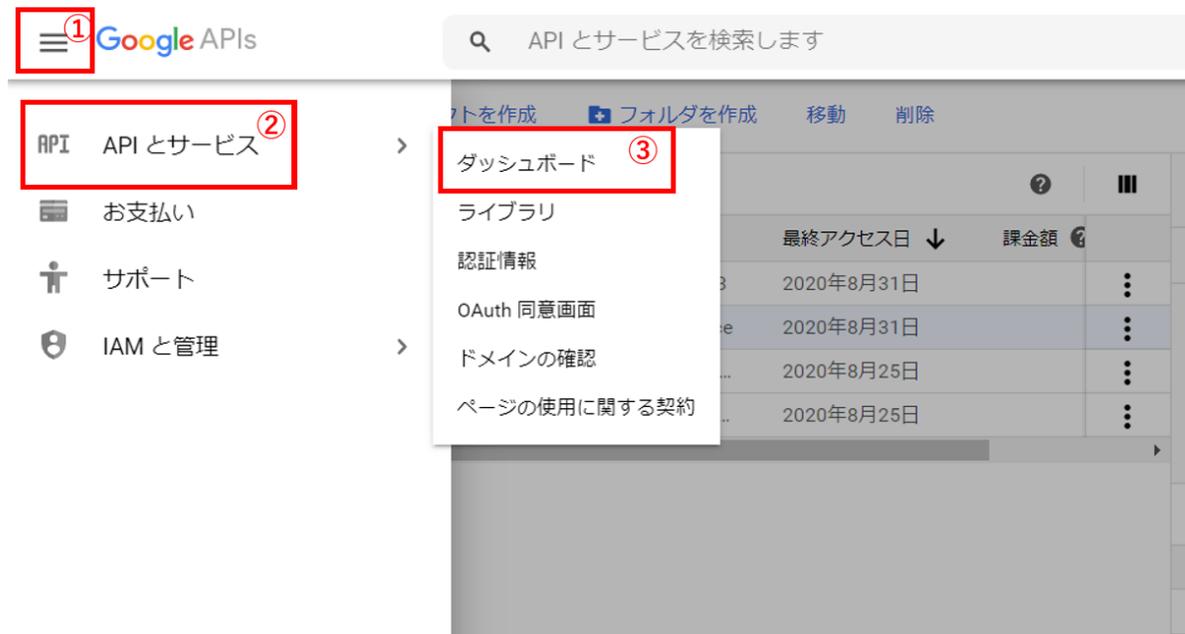
場所* 参照

親組織またはフォルダ

[作成](#) [キャンセル](#)

APIの利用設定への画面遷移

- ▶ 利用するAPIを有効に設定します。
 - ▶ プロジェクト作成後、図の方法で遷移するかもしくは以下のURLをクリックしてください
 - ▶ <https://console.developers.google.com/apis/dashboard>
 - ▶ 図



APIの利用設定 プロジェクト選択

- ▶ 画面上部のGoogle APIsの横に先ほど登録したプロジェクトが選択されていることをご確認ください。
 - ▶ また、閲覧権限がないというエラーが表示された場合は、Google APIsの横の「プロジェクトの選択」から先ほど登録したプロジェクトを選択してください。

Google APIs プロジェクトの選択 ▼

API とサービスを検索します

API API とサービス

❖ ダッシュボード

出 ライブラリ

🔑 認証情報

... Google 同意画面

❗ このページの閲覧権限がありません

</apis/dashboard?project=lunar-linker-273505&authuser=1> の読み込み中にエラーが発生しました。

以下の必須の権限が1つまたは複数不足しています。

HRBCで利用するAPIを設定 1

Google APIs HRBCMailService ▼

API とサービスを検索します

API とサービス

API とサービス **+ ENABLE APIS AND SERVICES**

ダッシュボード

使用できる API はまだありません。開始するには、[API とサ-

HRBCで利用するAPIを設定 2

- ▶ Gmailを検索後、「Gmail API」をクリック

The screenshot shows the Google APIs search interface. At the top, there is a search bar with the text "API とサービスを検索します". Below the search bar, the search term "Gmail" is entered and highlighted with a red box. An orange arrow points down from the search bar to the search results. The search results are displayed in a list format, with the first result, "Gmail API", highlighted with a red box. The result includes the Gmail logo, the text "Gmail API", "Google", and the description "Flexible, RESTful access to the user's inbox".

Google APIs HRBCMailService ▼ API とサービスを検索します

検索

フィルタ条件: 3 件の結果

カテゴリ

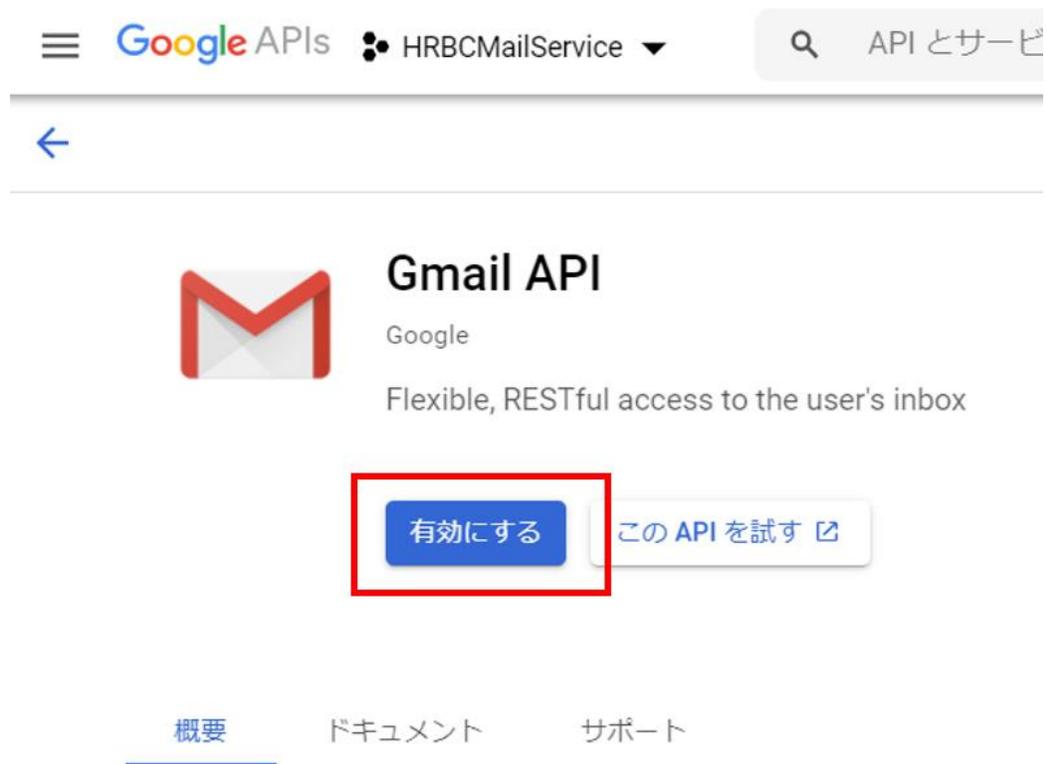
アナリティクス (1)

ビッグデータ (1)

 Gmail API
Google
Flexible, RESTful access to the user's inbox

HRBCで利用するAPIを設定 3

- ▶ 「有効にする」をクリックする



The screenshot shows the Google APIs console interface. At the top, there is a navigation bar with the Google APIs logo, the account name 'HRBCMailService', and a search bar containing 'API とサービ'. Below the navigation bar is a blue back arrow. The main content area displays the 'Gmail API' card, which includes the Gmail logo, the text 'Gmail API', 'Google', and 'Flexible, RESTful access to the user's inbox'. A blue button labeled '有効にする' (Enable) is highlighted with a red rectangular box. To its right is a button labeled 'この API を試す' (Try this API) with an external link icon. At the bottom of the card, there are three tabs: '概要' (Overview), 'ドキュメント' (Documentation), and 'サポート' (Support).

Oauth同意画面の設定

- ▶ Gmail API設定後 左上の「Google APIs」をクリック後、「OAuth同意画面」をクリックし、User Typeに「内部」を選択後、「作成」をクリックする



Oauth同意画面 [アプリケーション名]

1. アプリケーション名

- ▶ 「HRBC Mail Service」等、用途がわかるような名称を入力してください。

アプリケーションの種類

公開
どの Google アカウントでも、このアプリに必要なスコープへのアクセス権を付与できます。
[スコープの詳細](#)

内部
組織内の Google アカウントを持つユーザーのみが、このアプリでリクエストされたスコープへのアクセス権を付与できます。

アプリケーション名 ⓘ
同意を求めるときのアプリの名前

HRBC Mail Service

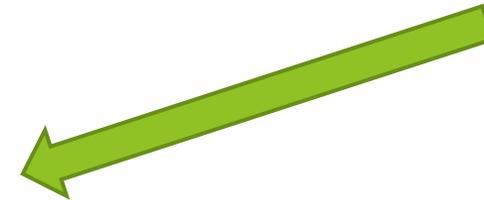
アプリケーションのロゴ ⓘ
ユーザーがアプリを認識しやすいよう同意画面に表示される画像

アップロードするローカル ファイル [参照](#)



サポートメール ⓘ
ユーザー サポートに関する同意画面に表示されます

mitsuhiro.ohishi@gsuite.disaster-recovery.porterscloud.com



OAuth 同意画面

ユーザー認証を行う前に、この同意画面では、プライベートデータへのアクセス権を付与するかどうか、また利用規約とプライバシーポリシーへのリンクを付与するかどうかをユーザーが選択できます。このページでは、このプロジェクトのすべてのアプリの同意画面を掲載します。

アプリケーションの種類

公開
どの Google アカウントでも、このアプリに必要なスコープへのアクセス権を付与できます。
[スコープの詳細](#)

内部
組織内の Google アカウントを持つユーザーのみが、このアプリでリクエストされたスコープへのアクセス権を付与できます。

アプリケーション名 ⓘ
同意を求めるときのアプリの名前

HRBC Mail Service

アプリケーションのロゴ ⓘ
ユーザーがアプリを認識しやすいよう同意画面に表示される画像

アップロードするローカル ファイル [参照](#)



サポートメール ⓘ
ユーザー サポートに関する同意画面に表示されます

mitsuhiro.ohishi@gsuite.disaster-recovery.porterscloud.com

Google API のスコープ
スコープを設定すると、アプリケーションはユーザーのプライベートデータにアクセスできるようになります。 [詳細](#)
カレンダーやドライブの完全アクセス権を付与するスコープなど、プライベートデータにかかわるスコープを追加する場合は、スコープの公開前に Google が同意画面を確認します。

email
profile
openid

[スコープを追加](#)

承認済みドメイン ⓘ
アプリのユーザーを保護するために、Google では、OAuth を使用して認証するアプリケーションのみに承認済みドメインの使用を許可しています。アプリケーションのリンクは承認済みドメインでホストされている必要があります。 [詳細](#)

example.com
ドメインを入力し、Enter キーを押して追加します

[アプリケーション ホームページ] リンク
同意画面に表示されます。承認済みドメインでホストされている必要があります。
[https:// または http://](#)

[アプリケーション プライバシーポリシー] リンク
同意画面に表示されます。承認済みドメインでホストされている必要があります。
[https:// または http://](#)

[アプリケーション 利用規約] リンク (省略可)
同意画面に表示されます。承認済みドメインでホストされている必要があります。
[https:// または http://](#)

[保存](#) [キャンセル](#)

Oauth同意画面 [スコープの追加]

1. Google APIのスコープの追加

- ▶ スコープに「gmail.send」と「gmail.readonly」を追加します。

Google API のスコープ

スコープを設定すると、アプリケーションはユーザーのプライベートデータにアクセスできるようになります。 [詳細](#)

カレンダーやドライブへの完全アクセス権を付与するスコープなど、プライベートデータにかかわるスコープを追加する場合は、スコープの公開前に Google が同意画面を確認します。

email

profile

openid

スコープを追加

OAuth 同意画面

ユーザー認証を行う前に、この同意画面では、プライベートデータへのアクセス権を付与するかどうか、また利用規約とプライバシーポリシーへのリンクを付与するかどうかをユーザーが選択できます。このページでは、このプロジェクトのすべてのアプリケーションの同意画面を構成します。

アプリケーションの種類

公開
どの Google アカウントでも、このアプリに必要なスコープへのアクセス権を付与できます。
[スコープの詳細](#)

内部
組織内の Google アカウントを持つユーザーのみが、このアプリでリクエストされたスコープへのアクセス権を付与できます。

アプリケーション名 
同意を求めるアプリの名前
HRBC Mail Service

アプリケーションのロゴ 
ユーザーがアプリを認識しやすいよう同意画面に表示される画像
アップロードするローカル ファイル



サポートメール 
ユーザー サポートに関する同意画面に表示されます
mitsuhiro.ohishi@gsuite.disaster-recovery.porterscloud.com

Google API のスコープ
スコープを設定すると、アプリケーションはユーザーのプライベートデータにアクセスできるようになります。 [詳細](#)
カレンダーやドライブへの完全アクセス権を付与するスコープなど、プライベートデータにかかわるスコープを追加する場合は、スコープの公開前に Google が同意画面を確認します。

email

profile

openid

スコープを追加

承認済みドメイン 
デベロッパーとユーザーを保護するために、Google では、OAuth を使用して認証するアプリケーションのみに承認済みドメインの使用を許可しています。アプリケーションのリンクは承認済みドメインでホストされている必要があります。 [詳細](#)
example.com
ドメインを入力し、Enter キーを押して追加します

[アプリケーション ホームページ] リンク
同意画面に表示されます。承認済みドメインでホストされている必要があります。
https:// または http://

[アプリケーション プライバシーポリシー] リンク
同意画面に表示されます。承認済みドメインでホストされている必要があります。
https:// または http://

[アプリケーション 利用規約] リンク (省略可)
同意画面に表示されます。承認済みドメインでホストされている必要があります。
https:// または http://

Oauth同意画面 [スコープ選択]

スコープの追加

スコープは、エンドユーザーに代わって、さまざまなアクセスレベルをアプリケーションに付与する場合に使用します。 [OAuth 2.0 の詳細](#)
一覧表示されるのは、有効な API のスコープのみです。

gmail

API	Scope	Description
<input type="checkbox"/>	email	メール アドレスの表示
<input type="checkbox"/>	profile	ユーザーの個人情報の表示 (ユーザーが一般公開しているすべての個人情報を含む)
<input type="checkbox"/>	openid	Google で公開されているお客様の個人情報とお客様を関連付ける
<input checked="" type="checkbox"/>	Gmail API ../auth/gmail.send	ユーザー本人に代わってメールを送信
<input type="checkbox"/>	Gmail API ../auth/gmail.labels	メールボックス ラベルの管理
<input type="checkbox"/>	Gmail API ../auth/gmail.metadata	ラベル、ヘッダーなど、メール メッセージのメタデータの表示 (メール本文は表示されません)
<input checked="" type="checkbox"/>	Gmail API ../auth/gmail.readonly	メール メッセージと設定の表示
<input type="checkbox"/>	Gmail API ../auth/gmail.settings.sharing	機密メールの設定 (例: メールを管理できるユーザー) の管理
<input type="checkbox"/>	Gmail API ../auth/gmail.addons.current.message.metadata	アドオンの実行時にメール メッセージのメタデータを表示

❗ スコープが見つからない場合:一覧表示されるのは有効な API のスコープだけです。表示されていないスコープを追加するには、[Google API ライブラリ](#)にアクセスし、使用する API を有効にしてからここに戻り、そのスコープを追加するか、スコープを手動で貼り付けてください。

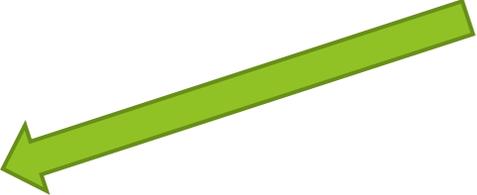
キャンセル 追加

Oauth同意画面 [保存]

- ▶ Oauth同意画面でアプリケーション名、スコープの設定を完了させたの値、画面最下部の「保存」をクリックしてください。
 - ▶ その他の項目は特に入力する必要はありません。

[アプリケーションプライバシーポリシー]リンク
同意画面に表示されます。承認済みドメインでホストされている必要があります。

[アプリケーション利用規約]リンク (省略可)
同意画面に表示されます。承認済みドメインでホストされている必要があります。



OAuth 同意画面

ユーザー認証を行う前に、この同意画面では、プライベートデータへのアクセス権を付与するかどうか、また利用規約とプライバシーポリシーへのリンクを付与するかどうかをユーザーが選択できます。このページでは、このプロジェクトのすべてのアプリケーションの同意画面を構成します。

アプリケーションの種類

公開
どの Google アカウントでも、このアプリに必要なスコープへのアクセス権を付与できます。
[スコープの詳細](#)

内部
組織内の Google アカウントを持つユーザーのみが、このアプリでリクエストされたスコープへのアクセス権を付与できます。

アプリケーション名
同意を求めるアプリの名前

アプリケーションのロゴ
ユーザーがアプリを認識しやすいよう同意画面に表示される画像

サポートメール
ユーザー サポートに関する同意画面に表示されます

Google API のスコープ
スコープを設定すると、アプリケーションはユーザーのプライベートデータにアクセスできるようになります。 [詳細](#)
カレンダーやドライブへの完全アクセス権を付与するスコープなど、プライベートデータにかかわるスコープを追加する場合は、スコープの公開前に Google が同意画面を確認します。

承認済みドメイン
アプリとユーザーを保護するために、Google では、OAuth を使用して認証するアプリケーションのみに承認済みドメインの使用を許可しています。アプリケーションのリンクは承認済みドメインでホストされている必要があります。 [詳細](#)

ドメインを入力し、Enter キーを押して追加します

[アプリケーション ホームページ]リンク
同意画面に表示されます。承認済みドメインでホストされている必要があります。

[アプリケーションプライバシーポリシー]リンク
同意画面に表示されます。承認済みドメインでホストされている必要があります。

[アプリケーション利用規約]リンク (省略可)
同意画面に表示されます。承認済みドメインでホストされている必要があります。

認証情報 OAuth2.0 クライアントIDの発行

- ▶ 認証情報よりOauth 2.0 クライアントIDを発行します。

The screenshot shows the Google APIs console interface. The left sidebar contains navigation options: ダッシュボード, ライブラリ, 認証情報 (highlighted with a red box), OAuth 同意画面, ドメインの確認, and ページの使用に関する契約. The main content area is titled '認証情報' and includes a '+ 認証情報を作成' button (highlighted with a red box) and a '削除' button. A dropdown menu is open from the '+ 認証情報を作成' button, listing three options: 'API キー' (Simple API key), 'OAuth クライアント ID' (highlighted with a red box), and 'サービス アカウント' (Service account). Below the dropdown, there is a 'ウィザードで選択' (Use wizard) option. At the bottom, a table header is visible with columns for '名前', '作成日', '種類', and 'クライアント ID', and a message stating '表示する OAuth クライアントがありません' (No OAuth clients to display).

Client IDの発行

▶ Application Type

- ▶ 「Web application」を選択します。

▶ Name

- ▶ 「HRBC Mail Service」等、用途がわかるような名称を入力してください。

▶ Authorised redirect URIs

- ▶ 「<https://hrbc-jp.porterscloud.com/auth/oauth>」を設定してください。
 - ▶ Googleでの認証完了後に戻ってくるページとなります。
 - ▶ こちらの設定に誤りがあると正常に動作しない可能性がありますのでご注意ください。

← Create OAuth client ID

A client ID is used to identify a single app to Google's OAuth servers. If your app runs on multiple platforms, each will need its own client ID. See [Setting up OAuth 2.0](#) for more information.

Application type *

Web application

[Learn more](#) about OAuth client types

Name *

Web client 1

The name of your OAuth 2.0 client. This name is only used to identify the client in the console and will not be shown to end users.



The domains of the URIs you add below will be automatically added to your [OAuth consent screen](#) as [authorised domains](#).

Authorised JavaScript origins ?

For use with requests from a browser

+ ADD URI

Authorised redirect URIs ?

For use with requests from a web server

+ ADD URI

CREATE

CANCEL

クライアントIDの発行完了

- ▶ 「クライアントIDの発行」ページの設定完了後、以下のページが表示されます。クライアントID/クライアント シークレットをHRBCに登録してください。
 - ▶ 発行するクライアントIDは1つで問題ありません。1つのクライアントIDを複数ユーザーが利用します。
 - ▶ HRBC Google クライアントID/シークレット登録ページURL
 - ▶ <https://hrbc-jp.porterscloud.com/auth/platform-settings?language=ja>



HRBCへの登録

- ▶ 発行したクライアントIDをHRBCに登録します。
 - ▶ 登録はHRBCの管理者のみ可能となります。



A screenshot of the 'Google OAuth 情報の入力' (Google OAuth Information Input) form. The form is titled 'PORTERS' and has a 'ヘルプ' (Help) icon in the top right corner. It contains two input fields: 'クライアントID' (Client ID) and 'クライアントシークレット' (Client Secret). Below the input fields are two buttons: a green '保存' (Save) button and a grey '閉じる' (Close) button.

OAuth レート制限

- ▶ Google APIは1日の新規登録数に制限が設けられていますが10,000件となっているためご利用には問題ないと考えられます。

The screenshot shows the Google API console interface. At the top, the user is logged in as 'HRBCMailService'. The left sidebar contains navigation options: 'API とサービス', 'ダッシュボード', 'ライブラリ', '認証情報', 'OAuth 同意画面' (highlighted), 'ドメインの確認', and 'ページの使用に関する契約'. The main content area is titled 'OAuth 同意画面' and shows details for 'HRBC Mail Service'. Under 'ユーザーの種類', '内部' is selected. A red box highlights the 'OAuth レート制限' section, which includes a 'トークン付与レート' (Token grant rate) of 10,001 per 5 minutes for a 1-day period. A note states that the current limit is 10,000 per day, which resets daily, and provides a link to increase the limit. A dashed line at the bottom of the chart area indicates that no data is available for the selected time frame.

Google APIs HRBCMailService

API とサービスを検索します

API API とサービス OAuth 同意画面

ダッシュボード

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ドメインの確認

ページの使用に関する契約

HRBC Mail Service アプリを編集

ユーザーの種類

内部

外部へ

OAuth レート制限

トークン付与レート

トークン付与レートは、アプリケーションで新規ユーザーを取得できる速度を制限します。

現在の1日あたりのトークン付与レート制限は10,000件の付与です。1日あたりのトークン付与レートは毎日リセットされます。[1日あたりのトークンの制限を増やす](#)

5分 1日

10,001

No data is available for the selected time frame. 10,000